

## 評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日: 令和6年 11月 29日

事業所名	24時間宅老所楽さん家
担当者名	池田 真司
連絡先	24-6611

運営推進会議等での評価実施日 令和6年11月14日

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(別紙1)自己評価・外部評価 評価表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)

(別紙2-2)事業所自己評価

(別紙2-4)サービス評価総括表

看護小規模多機能型居宅介護

(別紙3-3)運営推進会議における評価

認知症対応型共同生活介護

(別紙2の2)自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

### 【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係

E-mail:kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

令和6年度

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を玄関や事務所に掲示している。事業所理念について、職員間で振り返る機会がないため、共通理解が十分できていない現状がある。今後、実践に繋がるよう、ミーティング等で理念を振り返る時間が必要がある。			会社理念が玄関に設置されています。感染症もあり、理念の再認識の機会が少ないと思うが、努力されていると思う。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入し、防災訓練に参加してもらったり、協力体制は少しずつできている。まだまだ施設内での新型コロナ発生や感染拡大を考慮し、地域交流が十分できていない面がある。	夏季のお祭り行事(子供神輿等)が中止になる事が多くなってきた。今の時代にあったイベント等の参加や季節に応じた地域イベントへの参加が出来れば良い。		屋内で、誕生日会や食事作りイベントが行われています。なかなか大イベント等開催ができないと思うが、努力されていると思う。地域との繋がりに意向や思いは伝わっています、あとはコロナ等に対する施設と地域との考え次第で実践できればと感じます。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	令和5年5月より、運営推進会議が開催できるようになり、委員の皆様へ利用者の現状報告やサービスでの取り組みについての評価を頂けるよう、意見をもらいサービス向上に繋げたい。また、入居者は勿論職員も今後参加し、サービスの取り組み状況等報告できるよう、また運営推進会議の意義等について、理解を深められるように活用していきたい。	サービス現状の報告をこまめにされている。入居者状況の報告や事故報告等報告をされている。		資料作成等、丁寧に行われている。防災訓練の見学をさせて頂きましたが、とても良かったと感じます。回数を増やし地区の参加者がもっと増えると良いと感じます。

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者を中心に情報や相談等、連絡を取り合うと共に、BCP 作成やマニュアル等の作成・更新のため、市と相談・連携をとることができている。職員の市町村との関わりがほとんどない現状であるため、知る機会が必要と感じる。	福祉祭りの参加やグループホーム連絡会の開催により、行政との連携が出来てきていると思う。今後も、協力関係の強化ができると良い。		良く連携がとれていると感じます。施設管理者の方はその都度報告や相談等積極的に関わっています。管理者中心の関わりを現場施設全体にするともっと良くなると思います。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議を年に4回実施。研修については、新型コロナウイルスの影響により、職員へ研修資料等配布し、高齢者虐待防止研修を行った。職員一人ひとり意識統一を図っている。玄関施錠時間については、日中9時～18時までは施錠無し、18時から翌日9時までを夜間施錠を行っている。転倒、転落等の切迫性のある方へは家族に了承を得て、センサーマット等に対応し、見直しを行っている。		A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スピーチロックをしてしまう行動はとても身近にあると感じます。身体拘束についての適正化会議の議事録より、入居者への声かけについて、職員間で助言し合う環境づくりに取り組まれています。職員の意識統一が図られており、やむを得ない場合の対応も適切に図られていると思います。運営推進会議内においても、身体拘束適正化に伴う、高齢者虐待防止対策に関わる取り組み資料が配布されている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミーティング時に高齢者虐待防止研修を実施。管理者からの伝達講習が中心のため、グループワーク等、職員の意見交換を行う場も今後検討していく。職員はひやりハット報告書、事故報告書を用いて、情報共有が出来るよう、業務日誌にファイリングし、全員がサイン、確認を行う。ミーティングで検討、振り返りを行っている。		A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	細かく注意されていると思います。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方々一人ひとりに尊厳を持ってより良い生活ができるよう、入居者ご本人に必要な支援をご家族へ情報提供を行い、話し合い、支援に結びつけている。成年後見制度についての研修については実施できていない。職員が学ぶ機会を作っていく必要がある。成年後見の相談等があれば、関係機関への橋渡しを行うと共に、必要な場合等、関係機関へ相談し、対応している。			成年後見制度の理解はとても必要な事だと思いますので定期的に勉強会開催を行って欲しいです。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約内容に関して不明な点がないか、随時確認をしながら説明し、同意を頂いている。改定時についても同様である。不安や疑問に思うことがあれば気軽に相談できるような雰囲気作り、関係作りを心掛けている。			丁寧に説明等されている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の支援の中での入居者本人からの意見、要望の内容に耳を傾け、家族との電話連絡時等の意見、要望の内容を、情報共有している。必要に応じて、全体会議を開催し改善策等を話し合っている。玄関には意見箱を設置している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との意思の疎通を大切にされている。介護計画にも家族の気持が記載され、反映されている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が意見収集等を行い、運営に関する意見や提案を聞いているが、個別面談は行っていないため、年1回以上の面談の体制作りを検討している。業務改善が必要な場合は会議の開催により決議を行っている。代表決裁が必要な場合は、経営会議で伝え改善に向けた相談をしている。職員は代表者に会う機会がほとんど			マンパワー不足により、時間が無い事や余裕も無い時があると思う。少しずつ改善できればと思う。

				<p>どないため、意見が届きづらい状況にある。</p>			
11	就業環境の整備	<p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員一人ひとりの介護技術や知識向上に向けて必要とされる研修等、情報提供を行い、研修を受講しやすい環境を整えている。人事考課制度が不十分な状況にあるため、来年度に向けて、検討を行っている。職員からの意見等、必要時は管理者から代表者へ相談を行っている。取得資格や勤続年数に応じた実績による賃金テーブルを設定している。</p>		<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員の方のモチベーションを高める為にも、人事考課制度は必要と思います。職員の熱意や努力が賃金に反映されると、モチベーションも上がり介護やサービスの質が上がると思います。</p>
12	職員を育てる取り組み	<p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>施設外研修について、職員からの受講希望や管理者から研修の情報発信等を行い、要望に応じて勤務配置等の配慮を行っている。キャリアアップ制度構築に向け、検討を行っている段階のため、まだまだ課題があるが、個人目標シートを作成し、実施。職員間で目標の内容や取り組みに差がある。</p>		<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>取り組みを行い向上心が持てるように願います。マンネリ防止の為、施設外研修の充実を図ればとても良いと思います。</p>
13	同業者との交流を通じた向上	<p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>グループホーム協会、グループホーム連絡会、東圏域グループホーム協議会等の学習会参加や情報交換会等、管理者が中心で、職員参加があまりできていない。他事業所の取り組みを知り、視野を広げたり、法人内でのグ</p>			

				ループホーム合同の学習会等も行っていく必要がある。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の残存機能や生きがい、楽しみとなることも検討し、常に入居者の方に尊敬の念を持ち、丁寧に声掛けするよう、心掛けている。入居者の方一人ひとりが喜怒哀楽の感情の表出ができるよう、関係作り、環境作りに努めると共に、笑顔で過ごしてもらえ暮らしを支援している。意思疎通が困難な方であっても、声掛けやスキンシップを行うと共に、傍に寄り添う支援を行っている。 自立支援の観点での取り組みがもっと必要であるが、重度化に伴い、職員業務が多くあり、実施できていない面がある。昔のこと、本人の得意だったことなど、場面によっては、入居者から教えてもらう場も作っている。			とても良く取り組まれていると思います。職員の方々、働きやすい環境であるかが重要であると思います。職員の方々の笑顔でいられる為の職場環境作り等により職員が幸せでなくては入居者の方も幸せになれないと感じます。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に馴染みのある家具や品物を出来るだけ設置している。コロナ禍以降、状況に応じて、家族等の面会の形態を変更しながら、対応。(面会制限や窓越し面会等)馴染みの人や場所への支援は十分行えていないので、生活歴の見直しや本人の言葉から、活用できることはないか、考えていきたい。	家族参加型のイベント実施ができる環境に早くなって欲しい。花火大会やクリスマス会等開催されている。職員の方が考えて入居者の方に楽しんでもらう企画(寸劇や紙芝居)をされて良い。		感染症が落ち着かないが努力して欲しいと思います。看取り等の際、ご家族が寄り添える様、配慮できていると思います。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回のミーティング内で意見交換を行っている。今年度より、個別の家族面談を実施しているため、本人、家族の思いや意向の確認を実施している。日々携わの中で聞き取った情報等、要望シートやアセスメントシートにまとめている。認知症介護の基本として入居者本人に合ったコミュニケーション等の関わり方を考え、思いや希望に添ったケアが出来るように職員間で日々検討している。意思疎通困難な方については、入居者本人の思いを押し量りながら、家族とともに、支援方法を考え実施している。			定期的に家族面談の実施をされている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方々の課題を職員内でアセスメントシートを活用、抽出し、解決していくための介護計画書の原案を作成している。担当職員による新たなモニタリング表の活用、評価しやすい目標について検討している。ケアプランの意識付けに向け、検討を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にモニタリング・評価をされている。ご家族の意見も取り入れながら行っているとの事で、入居者や家族の希望に添えるようにされている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の申し送りや個別記録、業務日誌と合わせ、職員が気づいた点などを職員間で共有できるようにしている。個別記録用紙の変更を行い、ケアプランの欄を設け、記録を緑色で行い、ケアプランの意識付け、見直しに活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の様子や課題を十分説明して頂けます。ケアプランに基づいたケアを実践し、変更があれば随時更新体制がとれると良いと思います。個別ケアがとても良くできていると思います。コンサートに行く等とても良い支援をされています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状況や介護度の変化等、状況に応じて、家族と随時相談し、対応している。柔軟な支援や多機能化について、具体的にはどのようなことができるか、他事業所の取り組みを知る機会も必要である。	個別支援の充実化を図って行く事が大切である為、ニーズに添えたサービスを行ければ良い。		個別支援の充実に取り組まれている。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、利用者の重度化やコロナ禍後の影響により、外出支援があまりできていない。今年度から家族とのお見舞いや個別での外出を少しずつ再開している。施設内でできるイベント(食事作り、誕生日会、納涼祭、敬老会、クリスマス会)等、ささやかではあるが職員間で起案し実施している。地域資源を知ることでもある。	感染対策をしながら実施を行っていく必要がある。		外出支援等、努力されていると思う。散歩や近所の商業施設や国分寺に行く等、数分間でも入居者の方は気分転換になると思う。面会が解除されれば家族同伴での散歩ができれば良いと思います。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間往診対応可能な地域の医療機関と看取り支援まで可能な体制作りを行っている。入居者本人や家族の希望に添えるよう、医療的ケアについてや終末期支援についての意思確認書を作成し、主治医へ情報共有を行っている。適切な医療を受けられるよう、医療的ケアや終末期についての方針について、必要に応じて、主治医の説明を受ける機会や他医療機関への受診の支援、訪問看護との連携を行っている。			主治医が近くにいる為、安心できる環境だと思っています。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は看護職員、管理者または介護職員が家族と同伴し、入院先の医療機関や医療機関内地域連携室との連携を図るため、口頭での情報提供含め情報提供書の提出を行っている。入院期間について、経過状況等を情報交換を行うと共に、退院時に備えての相談を行っている。		A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報提供書に入居者の日常生活の状況が詳細にまとめられている。入院中の面会や退院時カンファレンスの参加で安心して退院できる環境を作っている。



23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化指針の内容を家族に説明し、同意を頂いている。また、契約時に重度化した場合や終末期の方針についての意向確認を行い、書面を交わしている。また、本人の状態が変化した際にも、再度意向の確認や面談を行っている。	/	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合、グループホームでの対応は難しい事も多いですが良く対応されていると思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変対応マニュアルを作成し、急変時は迅速に対応できるよう、電話横に配置している。看取り期の利用者の起こり得る内容、観察のポイント等について、看護師から助言をもらっている。急変対応、応急対応についての研修や訓練の定期的な実施ができていないため、課題である。	/	/	/
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災に関して、年2回避難訓練を実施している。地震・水害等の防災訓練については年1回実施している。新型コロナウイルスの影響により中止していた地域防災部の方々との合同防災訓練については昨年度より再開しているため、継続実施していきたい。	備蓄品の確保、入居者+職員3日分の確保がされて良い。避難所は松崎小学校となり、発電機の準備もしているが、試運転が必要な状況である。	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訓練の実施をされ対策の方も良く考えられている。災害時の備蓄品も用意されており対策をとられている。地域の方と一緒に訓練する事で、より協力体制も整えられている。地区の参加者が増えたと良い。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者一人ひとりを尊重し、その方に応じた声掛け対応を心掛けている。プライバシーの配慮のため、トイレ誘導時や入浴等の声掛けは個別に行うようにしている。不適切な言葉かけのないよう、職員一人ひとりが意識し、行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の尊厳を大切にされていると思う。声掛け以外にも非言語コミュニケーションによるスキンシップも行っている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人員不足や利用者の重度化により、余裕がなく、職員ペースで動いているときがある。入居者のペースに合わせて、ゆっくりと行える時間を少しずつでも作っていきたい。日頃より、入居者の方々の要望、健康状態や精神状態の把握に努め、職員間でどのように実現するか、話し合い、実践していききたい。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化に伴い、できる入居者が少ない面がある。テーブル拭きや食器洗いなど、一場面でも一緒にやる支援を心掛けている。また利用者より食べたいと希望があった献立について、食事作り等のイベントを起案し、実施している。介護度が高くなり実施困難になってきているが、本人の残存機能を見極め、支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居されている方が、食事を楽しめるよう、家族参加型の企画や個別支援による食事会等企画され、良い取り組みをしている。各入居者の方の嗜好品など家族や本人の何気ない言葉から聞き取りを行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事形態について、入居者の方々の嚥下状態や口腔内の状態等、看護師や協力歯科の歯科医師、歯科衛生士と相談し、食事形態を決めている。		食事摂取量、水分摂取量と排泄状況を把握されている。入居者の嗜好品に合わせた提供もされている。

				食事量、水分量については、個別記録に記入し、1日量の把握に努め、体調管理をしている。水分が足りない方であれば、その人の嗜好に合った飲み物を提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを実施し、入居者それぞれに合った口腔ケア用具を使用している。義歯を使用している方は、就寝時に声掛けを行い、洗浄液に付けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心や羞恥心に配慮した声掛けを行い、自立支援を促す声掛けを行っている。パットの会社からの研修をきっかけに、パット交換の回数や時間、個々のパットの見直しを行った。排泄時間については、個人記録に排尿や排便、時間等記録し、排泄間隔を把握し、トイレ誘導、パット交換を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録に排泄時刻が記載されており、排泄パターンの把握に努められていると感じる。こまめにパット交換もされている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在午後から行っているが、入居者希望に応じた入浴支援はできていない。入浴時は、羞恥心に配慮した対応を行うと共に、ゆったりと入れるように対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の睡眠状況や本人の体力等に合わせ、必要に応じて、自室やソファでのお昼寝支援などの声掛けを行っている。就寝中は、室温や布団の調整、生活習慣に合わせ、電気の光量の調整を行っている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がいつでも確認できるよう、内服ファイルを作成、確認できるようにしている。薬の減薬、形状の変更、排便コントロールについて、看護師と連携を図り、検診を行っている。薬の目的、副作用等についても、今後も理解を深めていく必要がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服の説明書をファイルにいれて分かりやすく管理されています。内服薬など、事故防止に注意されています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、ご家族からの生活歴の情報把握、共有不足があると感じる。今後の支援のために、どのように取り組むか、検討していきたい。入居者一人ひとりに合った役割や楽しみを持ってもらえるよう、生活の場でさまざまな関わりを検討している。	認知症になる前の日常生活における習慣や楽しみ事を大切に個別支援を行う事を心掛けている。		生活歴を大切に支援をされている。個別支援での実践(コンサートに行く等)をされている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以降、利用者の重度化もあり、日常的な外出支援はできていない。今年度より、ご家族との花見、個別外出等、少しずつ再開してきた。今後も個々の希望に応じて、ご家族の協力を得ながら、少しずつでも実施していきたい。入居者の方々の体調に合わせ、買い物や近隣への散歩や庭に出て外気浴等を行い、気分転換を図っていきたい。			個別支援等本人の希望に合わせた支援をされている。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的にお金を持っている入居者がいない。買い物の機会等、今後実施していきたい。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電話でお話する方は数名おられる。ご家族からが中心であるため、こちらからかける場合等、事前に相談し、了解があれば実施するようにしている。ご家族からお手紙が頻繁にある方はファイリグし、一緒に見返したり、はがきを出す支援を行っている。今後、他入居者についても、年賀状や、暑中お見舞い等、はがきや手紙を送れるように支援していきたい。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共有の空間は、関係性の構築のため、席の配置を検討したり、季節感に合った花を飾ったりしている。四季に合った行事を考えて、入居者の方々が快適に過ごしていただけるスペースを提供している。居室の表札は手作りで作成し、馴染みの家具や写真など持参してもらうようにしている。そのときの身体機能や状態に合わせて、配置についても、随時検討を行っている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節に合わせた飾りつけがされている。快適に過ごせるように環境整備している。家庭的な雰囲気があり廊下等綺麗にされている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の思いや願いに沿った暮らしが十分できているとは言えず、職員のペースで行っている面も多い。一人ひとりのペースに合わせ、どのように希望に沿った時間を作っていくかが課題である。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴、暮らしの習慣等、日々の何気ない発言や、情報も職員間で情報共有している。どのようにケアに活かしていくかが課題である。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当職員を中心に、生活の在り方について、多角的に検討、見直しを行っている。入居者の方々の体調や変化を早期に確認し、情報共有することで、日々のケアの見直しに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護と看護が連携し、入居者の変化について確認出来る体制を取られていると思います。看取りの取り組みをされているので、日々の健康管理に気を付けておられます。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調や本人のペースを大事に関わっているが、利用者の重度化、人材不足等、さまざまな要因から、十分とは言えない面もある。個別支援やイベント開催など、できる限り行える環境作りや業務体制を行っていく。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室内の物品については、できるだけご本人の馴染みの物(家具や写真等)を持ってきてもらうようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人に馴染みのある物を置かれている。入居者本人の安心に繋がる配慮がされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向、希望に沿った外出、買い物やイベント参加等はできていない。少しずつでも実施していきたい。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報収集を行い、生活の中で家事手伝いや、本人の楽しみ(編み物、折り紙、カラオケ、カルタ等)を支援できるよう、アプローチを行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テレビの内容やアルバムを観ながら、回想する場面を作ったり、季節の話題作り等、短時間であるが行っている。今後、個別に関わる時間を作ることや、日中時間に、運動支援、口腔体操等共通支援の時間を作り、その中で関わりを深め、会話を行っていききたい。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関わりが丁寧であり適切にケアされています。家事や、買い物支援等、これまでの生活が続けられるようにされています。職員の体制作りは大変だと思いますが頑張っておられます。重度化された場合等、ご家族は何が施設内でできるのかわからない事があるので、施設の方から提案をもらえると思う。

48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍以降、グループホームでの生活が中心であり、地域との関わりは限定的である。今後地域との交流について、検討していくことが必要であり、課題である。</p>	<p>散歩や買い物等入居者本人がやりたい事を職員ペースの時間にならないよう目標設定を行い実施している。</p>		
49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員は、入居者一人ひとりとの関わりの中で、笑顔が増える関わり方を常に意識し、行っている。新型コロナウイルスの影響がまだまだ続いており、入居者の命に関わるため、元通りになるには時間が必要である。地域の方々との防災避難訓練等の実施により、地域との繋がりを少しずつ取り戻し、地域に溶け込んだ運営をしていきたい。職員ペースでの時間の流れから、少しずつでも、入居者中心の生活に向け、何ができるか、業務改善や、職員の人材育成についても検討していきたい。</p>	<p>情報共有や公平性を保つサービスを考えながら、役職関係なく、職員が折り合いを持って話し合える環境作りが大切です。</p>	<p>A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ等感染症に負けず、試行錯誤で支援を果敢に実施していると思います。入居者一人ひとりのケアを大切に、目標設定を一日行い、公平なサービスをされていると思います。グループホームの機能を最大限生かしながら、又、地域とも連携しながら適切な運営をしておられます。行政との関わりも大切にされているので今後もグループホームの良さを地域の方へ伝えていって欲しいと思います。カンファレンス時には家族の参加する事ができると、とても良いと思います。家族が専門性に触れる事で職員の方々の気持ちを理解する事ができたり、方針についても家族に直接相談できる環境はとても必要と感じます。</p>

# 目標達成計画

事業所名 24時間宅老所 楽さん家

作成日: 令和 6年 11月 29日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	職員を育てる取り組みについて、法人内外研修の参加が出来ていない。	法人内外の研修を受ける機会の確保キャリアアップの構築を促進していく。	職員一人ひとりの専門性向上を図る為、研修の参加の促進を行う事や、個人面談を通し一人ひとりの力量の把握を行い、個人の成長成果を目指す。	12ヶ月
2	24	応急・急変(初期)対応による訓練(演習を含む)の定期的訓練の維持。	事故防止の取り組みや事故発生時(急変含む)の備え知識・意識向上を目指す。	入居者の一人ひとりのリスク対応方法を検討し、看護職員による応急対応や初期対応についての説明・演習訓練を行なっていく。 外部研修等へも参加し、AED等の取り扱いを学ぶ。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。